

桐ヶ丘

広報

No.72

令和3年4月1日 発行



利用者のほっこりする笑顔を
あつめてみました

年明けには皆で書き初めをし、自分達の好きな言葉や思いを書きました。

社会福祉法人 井川町福祉会

障害者支援施設 桐ヶ丘

南秋田郡井川町寺沢字綱木沢133-2

T E L (018) 874-2272

F A X (018) 874-2273

Eメール kirigaoka-akita@io.ocn.ne.jp

<http://www.kirigaoka.org>



新年度、私が目指すこと

施設長 川村金高

桐ヶ丘の施設長となり一年が経ちました。改めて自身の力不足を痛感した一年でもありました。その分、職員の皆さんに助けてもらえたから、本当に感謝しかありません。新年度も桐ヶ丘はワンチームとの思いで共に頑張つて参りたいと思います。また、昨年度を振り返ると色々なことがありました。その中で特に新年度に生かしていきたいと思うことがあります。

桐ヶ丘では毎年、施設長と全職員との面談を行っています。昨年も半年ほどかけて実施しました。その時の私の率直な感想は、「おかしいことをそのままにしていませんか。」といふことです。とても当たり前の単純な言葉ですが、当時の現状を言い当たる言葉と思い、その後このことをひとつの方針として、機会あるごとに職員に訴えてきました。まだ、以前よりは問題提起をする職員が増えていると感じています。

この問題提起を單なる問題の解決にとどめることなく、職員の成長と生き生きとした職場環境に変えていく必要と実感しました。したがって、問題意識のアンテナをしつかり張つて仕事をすること。そして、些細な事でも問題提起でき、職場環境を整えること。そして、それが職場を活気づけ、成長過程の解決に向けて努力していくこと。これが、職員が本音で大きいところです。

桐ヶ丘では毎年、施設長と全職員との面談を行っています。昨年も半年ほどかけて実施しました。その時の私の率直な感想は、「おかしいことをそのままにしていませんか。」といふことです。とても当たり前の単純な言葉ですが、当時の現状を言い当たる言葉と思い、その後このことをひとつの方針として、機会あるごとに職員に訴えてきました。まだ、以前よりは問題提起をする職員が増えていると感じています。

この問題提起を單なる問題の解決にとどめることなく、職員の成長と生き生きとした職場環境に変えていく必要と実感しました。したがって、問題意識のアンテナをしつかり張つて仕事をすること。そして、些細な事でも問題提起でき、職場環境を整えること。そして、それが職場を活気づけ、成長過程の解決に向けて努力していくこと。これが、職員が本音で大きいところです。

させてくれる大事な原動力になることを今、改めて実感しています。

問題のない職場というものは、存在しないと思います。もし「私の職場は何も問題がないです。」と思っている人がいるとすれば、それは問題に気づいていないか、もしくは気づいていても誰も話さない職場ということでしょう。

要は問題をどうとらえるかということです。

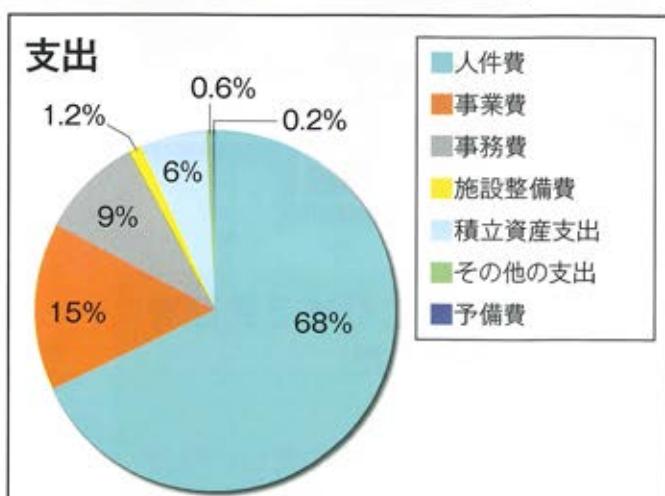
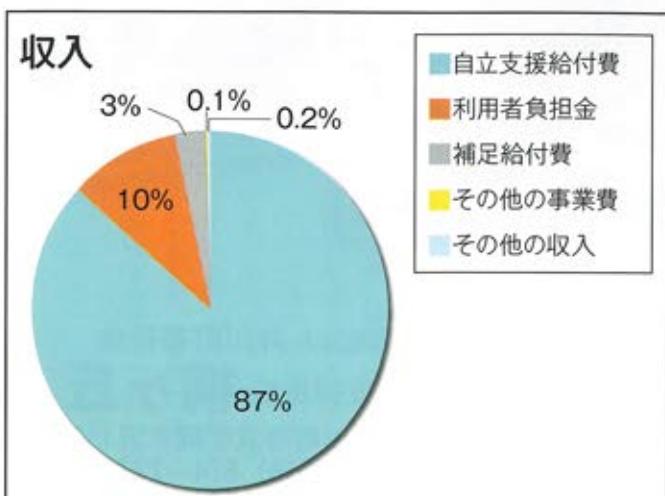
しかし、問題が発生すると、どうしてもマイナス思考、ネガティブに問題をとらえてしまいがちです。そうなると成長も発展も期待できないばかりか、組織がバラバラとなり弱体化していくことになります。私も本音を言えば、問題はありません。しかし、職員が成長し、施設が発展していくためには、目標と同様に問題を常に設けながら解決に向けて前向きのアクションが必要不可欠となります。「おかしいことをそのままにしていませんか。」は、まさにこのことにつながる取り組みなのです。

まずは私自身が問題意識という旗を高く掲げて参りたいと思います。最後になりますが、昨年度は新型コロナウイルスの感染予防対策に明け暮れた一年でもありました。ご家族の皆様や関係者の皆様にご理解とご協力をいただきましたことに心より感謝申し上げます。

令和3年度収支予算 障害者支援施設 桐ヶ丘

(単位:千円)

収入	391,545	支出	391,545
自立支援給付費	341,871	人件費	264,040
利用者負担金	37,159	事業費	58,190
補足給付費	11,099	事務費	36,040
その他の事業費	396	施設整備費	4,710
その他の収入	1,020	積立資産支出	24,930
		その他の支出	2,635
		予備費	1,000





漫談・マジックショー!

令和二年十月二十八日(水)



漫談・マジックショー



ちょうど色々な食材が美味しい季節でもあり、食で楽しんでいたところと思い、秋田の郷土料理「きりたんぽ鍋」と秋の味覚で脂がのつて美味しい「さんまの炭火焼き」などを考えてみました。きりたんぽ鍋は土鍋から取り分け普段と違ったスタイルで提供し、バーベキュー用の斎藤鉄三郎氏による漫談・マジックショーを行なつていただきました。利用者皆さんのが笑顔が多く、楽しい一日を過ごすことができました。

新型コロナウイルス感染症のため、例年通りの行事を行うことが難しく、ふれあい交流会・夏まつりに統いて桐ヶ丘祭も中止となりました。

そこで、利用者の皆さんに、何とか楽しんでもらうようにと係で検討しました。

行事主担当 佐藤 希
生活支援員

係りからコメント



ゲーム大会

令和二年十一月十九日(木)



クリスマス会

令和二年十二月十七日(木)

今年度のクリスマス会はコロナ禍で外部の慰問を招くことができず、話し合いの結果、利用者、職員が一緒に楽しめるbingoゲーム大会を開催することにしました。全利用者に景品が当たる事と上位入賞者には豪華景品が当たる事でみなさん一喜一憂し、楽しむことができました。

また、ゲームが始まる前にみなさうんで乾杯し、ケーキは例年より多く準備し、たくさん食べることができた。楽しかったと言う声が聞かれました。

係りからコメント

行事主担当 副主任生活支援員 武田 美昌





今年度は、新型コロナウイルスの影響で行事が縮小となり、健康祭も中止となりました。「新春のつどい」は、新年初めての行事であります。利用者の皆様に少しでも楽しい時間をお過ごしていただきたいと思い、抹茶と和菓子の提供とグループ対抗○×クイズを行いました。○×クイズでは、グループで協力しながら全問正解を目指しました。答えが満場一致だったり、割れてしまう場面もありながら笑い声が聞かれ楽しい時間を過ごすことができました。

樂しんでいただけるだろうか・・・と不安でしたが、皆様の笑顔がたくさん見られ「楽しかったよ」と言葉をいただきホッとなしました。新春のつどいを無事に終え、人との交流、笑うことの大切さを感じました。1日も早く新型コロナウイルスが収束し、いつも通りの生活に戻れる日が来ることを願うばかりです。

行事主担当 生活支援員 伊藤さやか

係りからコメント



新入所者



令和二年
十一月五日付
茂木 幸夫さん



令和二年
十一月十七日付
小林 美三夫さん

昨年の十一月五日に入所いたしました茂木幸夫です。人と話をすることが大好きです。早く施設生活に慣れて皆さんと仲良く過ごしていただきたいので、どうぞ気軽に声をかけてください。よろしくお願ひいたします。



令和二年
十一月十日付
佐々木法子さん

昨年の十一月十七日に入所いたしました小林美三夫です。登山が好きで南アルプス山脈に登つたことが良い思い出です。これからも入所者・職員と沢山お話しして、楽しい時間を過ごしていきたいと思いますのでよろしくお願ひします。

お悔やみ

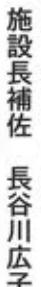
令和二年十一月六日逝去
檜森 麗子さん



心よりご冥福をお祈り申し上げます。

職員退職

令和二年十二月三十一日付
副主任生活支援員 草階 貞子



令和二年十二月三十一日付
施設長補佐 長谷川広子



瀬下乃蒼ちゃん(長女)
ババ 生活支援員 瀬下 明人
ママ さくら苑勤務
介護職員 瀬下はづき



令和三年二月十七日生

職員異動

桐ヶ丘からさくら苑へ
介護職員 嶋峨トキコさん

さくら苑から桐ヶ丘へ
生活支援員 岩田 富代

善意ありがとうございました。

応急手当講習会

湖東消防署員からの指導によりハ伊ムリック法やAEDの使い方、人工呼吸、心臓マッサージなどを実践さながら、万が一の事態に備えて定期的に講習を行なっています。



赤沢婦人会 様
ご協力を頂きありがとうございました。

井川町更生保護女性会 様
清拭布縫製ボランティア

井川町婦人会 様

編集後記

今年度は雪がたくさん降り、雪かきに難儀した年でした。あたたかな春の風に雪どけが進み過ごしやすい気候となりました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響がまだ大きい世の中、生活スタイルもどんどん変わつてきていますが、健康に気をつけて日常生活を送つて欲しいと思います。

編集委員より